

挑みつづける、変わらぬ意志で。



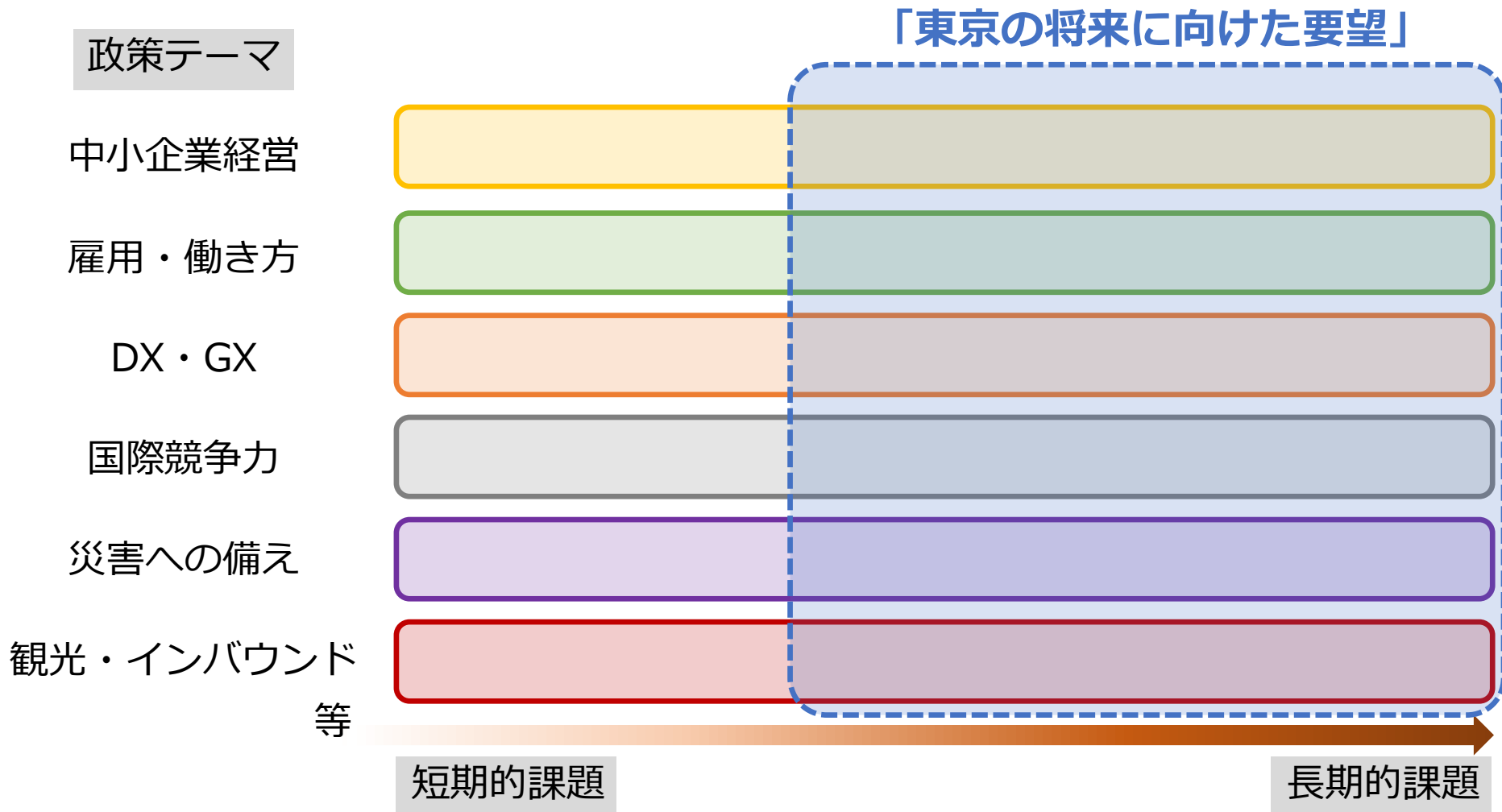
東京の将来に向けた要望 【概要】

2023年11月7日

東京の将来を考える懇談会

「東京の将来に向けた要望」の位置付け

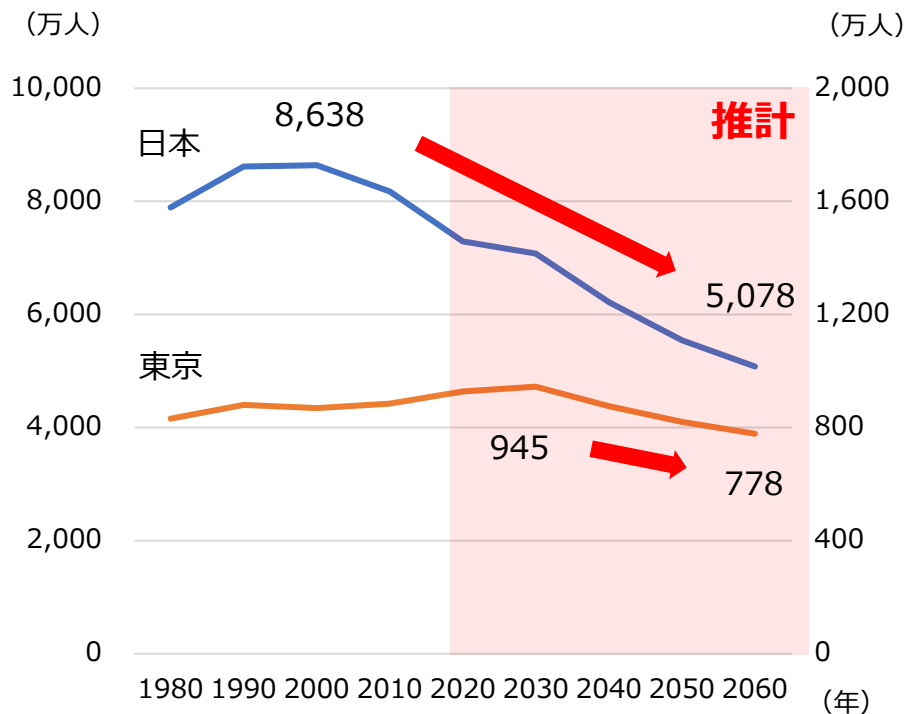
- 「東京の将来に向けた要望」は、幅広い政策テーマについて、**東京の将来あるべき姿を示す**とともに、東京が抱えている**中長期的な課題の解決に関する要望に重点を置く**ものとする。



人口オーナスと低迷する潜在成長率

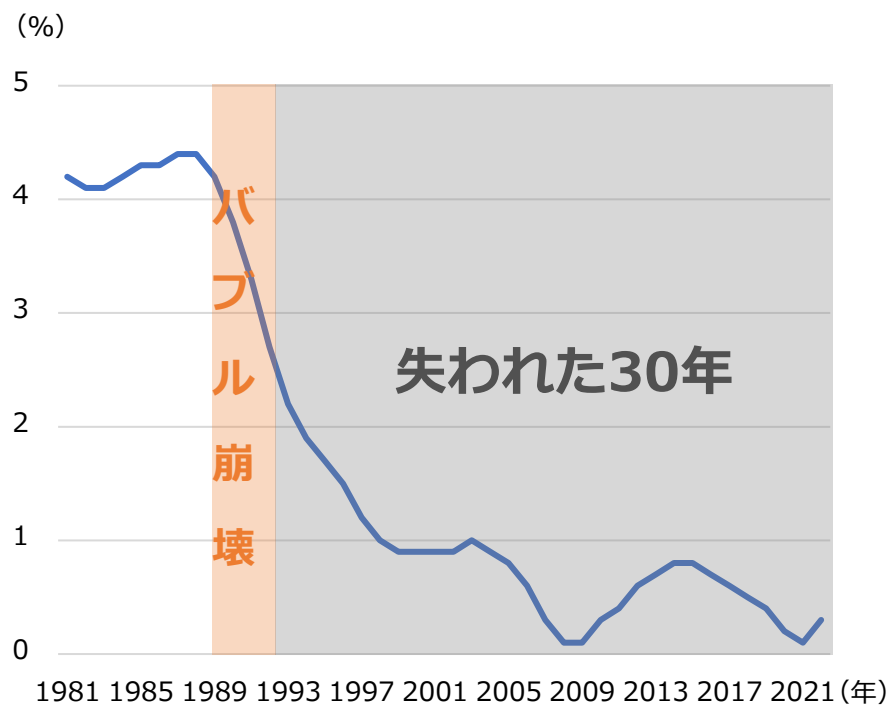
- 日本全体の生産年齢人口減少の後を追うように、東京都の生産年齢人口も2030年の945万人をピークに減少へ転じ、**2060年にはピークから約1割減の778万人**となる見込み。
- 日本経済の**潜在成長率は**バブル崩壊を経て**足もとでは1%未満に落ち込み**、「失われた30年」が「失われた40年」になる瀬戸際にある。

【日本および東京の生産年齢人口推移】



出典：総務省「国勢調査」、東京都「未来の東京」戦略 附属資料 東京の将来人口

【潜在成長率の推移】



出典：内閣府「月例経済報告」（2023年6月）

集積による生産性の向上が成長のカギ

- 労働供給の減少が見込まれる中、潜在成長率（労働投入 + 資本投入 + 全要素生産性（TFP））を向上させるためには、**人材の確保・育成や、産業の継続的な設備投資、都市の集積の活用**が重要。

潜在成長率の構成要素	労働投入	資本投入	全要素生産性（TFP）
潜在成長率向上のために考えられる施策	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人材の確保・育成 ✓ キャリア支援 ✓ リスキリング支援 ✓ デジタル人材育成 ✓ 少子化対策 ✓ 多様な人材の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 継続的な設備投資 ✓ インフラ投資 ✓ デジタルインフラの整備 ✓ 知的財産（無形資産）の拡充 ✓ AIの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 都市の集積の活用 （産業の掛け合わせ、大学・教育機関との連携、イノベーションの創出、国際都市力の向上）

人・知・企業・産業・データの集積性を有する東京
 が日本の成長を牽引していく

東京の集積の特徴

- 東京は、人・知・企業・産業・データの一大ネットワークであり、かつ、法の支配と治安の両面で安全・安心を得られる巨大都市は世界に類を見ない。

人

- ・ 世界一の都市圏人口（1都3県約3,690万人、2023年）
- ・ 巨大な人的資源を繋ぐ、地上・地下に張り巡らされた鉄道網と高速道路等の交通ネットワーク、エネルギーインフラ、多様な食やエンターテインメントの集積

知

- ・ 東京大学・東京工業大学・一橋大学等、トップ大学が都内に集積（NY・ロンドン・ベルリン等では他州や郊外に分散）
- ・ 特許・実用新案・意匠・商標のすべてにおいて国内トップの知的財産出願数（2022年）

企業 産業

- ・ 世界で2番目に世界的企業の本社が集積（2023年）
- ・ 日本の中小企業の約25%が東京都市圏に集積（2016年）
- ・ 多様なモノ×サービスの連携素地。製造業に加え、情報通信業や学術研究等専門技術サービス業の高い集積性

データ

- ・ 巨大市場に蓄積する多様で膨大な流通・消費・人流データ
- ・ 日本のゲートウェイとしての海外情報・ネットワークの集積
- ・ 東京都および官公庁・区・国会図書館等のオープンデータ
- ・ アジアトップレベルのデータセンターの集積（建設予定含）

法の
支配

安全で
安心な
都市

治安

基本的な考え方

日本経済は復活に向けたラストチャンス

長引く潜在成長率の低迷から脱却するには、生産性向上が急務。

生産性向上のため東京の集積性・多様性の最大限の活用を

人・知・企業・産業・データが集積し、多様性に恵まれた東京こそ、その掛け合わせによるイノベーション・付加価値の創出や、持続的な連携の発展を通じた価値向上により、わが国の生産性を高められる。

「産業」「人材」「都市」の生産性・持続性の向上を東京から実践

持続的な適正価格・賃金・再投資の好循環、生産性の高い事業への円滑な労働移動、人・モノ・カネ・情報を世界から引き寄せるマグネット東京を実現する。

レジリエントな都市東京の構築をさらに進める

多様化するリスクに対応すべく、備えとしての東京のレジリエンスをさらに高めていくことは必須。

東京を日本経済のゲートウェイとして東京の成長を日本全体に広げていく

人材のるつぼである東京の特性を活かし、東京の成長を地方に広げる方策を探る。

日本経済は失われた30年を経て、経済成長・人口ボーナスから、成長の停滞・人口オーナスへ変わった。ここで必要なことは、経路依存症に陥ることなく、明確な将来ビジョンを共有し、持てる資産を最大限に活用し、生産性・価値向上を図ること。東京がその役割を担うべきである。

本要望の全体像

「産業・人材・都市の生産性・持続性向上を目指して」

◆経済成長に向けた「産業」の構造転換

【要望テーマ】

産業・知・データの集積性と多様性の活用、価値・価格向上、DX・GX、
知的財産、金融市場の国際化、スタートアップ 等

◆「人材」を集め、力を引き出す社会変革

【要望テーマ】

トランポリン社会、リスキリング、少子化対策、多様な人材の活躍、
構造的賃上げ 等

◆魅力的かつレジリエントな「都市」東京の構築

【要望テーマ】

国際文化都市、都市インフラ、緑の創出、強靱化、ゼロエミッション、
フェーズフリー、バリアフリー 等

◆ゲートウェイ東京の成長を全国各地に展開

【要望テーマ】

世界の成長の取り込みによる東京の産業発展、東京の需要・供給をデジタル
の力で地方へ（地方製品のEC購買、東京の専門人材・知見のオンライン活用）等

経済成長に向けた「産業」の構造転換

企業が提供するモノ・サービスの付加価値を向上するためには、**東京の集積性と多様性を最大限に活用**することが重要である。多種多様な中小企業・大学等が互いの強みの掛け合わせにより新たな**イノベーションを創出**することで、モノ・サービスの**付加価値を高め、適正価格での取引を確実に浸透**させることが重要である。

また、**企業間での共用・標準化**を進め、**経営の効率化**を図ることも生産性を高めるうえで重要となる。これこそが**賃金の引き上げを含む経済の好循環に繋がっていく**。

あわせて、連携に際してはデータを集約してプラットフォーム化し共用を進め、データ活用による新たな価値創造、さらには区市町村に所在する産業集積や地域単位でのブランド化に繋げることが肝要である。

【要望事項】

1. 産業・知・データの集積性と多様性を活かして「皆で稼げる東京」へ

- 多種多様な中小企業・大学等の集積を活かしたオープンイノベーションの促進
- 地域の協業強化による産業集積のブランド化
- 協業時のデータ共有・活用およびデータプラットフォーム標準化・相互運用促進
- パートナーシップ構築宣言の実効性向上による中小企業等の取引適正化

等



出所：東京都「未来を拓くイノベーションTOKYOプロジェクト」HP

経済成長に向けた「産業」の構造転換

【要望事項】

2. DX・GXを梃子にした需要創出・産業構造転換の促進

- ▶ デジタル・脱炭素分野から広がる新たな需要創出と中小企業・産業の競争力強化
- ▶ 自動翻訳技術・生成AI等の活用による中小企業等の世界市場への挑戦支援
- ▶ 企業のグリーン化推進による環境先進都市東京のブランドイメージ確立支援
- ▶ 過度な負担を伴わない地球温暖化対策報告書制度および規制・支援一体型の政策の推進

3. 世界の技術革新をリードする知財戦略を

- ▶ 生成AI・GX等の来たる時代に適合した知財戦略の創出（新時代を牽引する東京発知財の国際標準化等）
- ▶ 技術・知財を保有する大学・研究機関・企業間のマッチング支援拡充
- ▶ 初出願代理費用の助成による実質無料化の実現
- ▶ 東京都における知的財産専門部署の設置

4. 産業の創出・活性化を加速させる東京金融市場の国際化

- ▶ 金融市場の国際化が東京の産業強化に結びつくまでのロードマップ明確化
- ▶ 新しいデジタル技術を活用した中小企業金融の推進
- ▶ 金融の仕組みを活用した中小企業のグリーン化支援
- ▶ スタートアップを支援する環境（スタートアップエコシステム）の強化 等

「人材」を集め、力を引き出す社会変革

イノベーションを創出するためには、**失敗を恐れずに挑戦し続ける**ことが何よりも重要である。一方で、諸外国と比較して、日本は一度の失敗が社会的信用を揺るがしかねず、挑戦に対して前向きな人が少ないという課題がある。

今後、人口減少や成長産業の変化により社会全体の新陳代謝が活発となることを見据え、**一度困難に直面しても再起を遂げようとする経営者の再スタートを強力に後押し**するとともに、再起を遂げられるモデルケースを輩出していきたい。あわせて、一度仕事を失った人でも早期に労働市場に復帰できる社会を目指し、特に成長産業分野で求められるスキル習得を目指した**リスキリング・リカレント教育等の人材投資**を大胆に行うとともに、セーフティネットを整備することも重要である。

【要望事項】

1. トランポリン社会の実現「何度でも挑戦できる東京に」

- 何度でも起業に再チャレンジできる支援策の拡充
- キャリア中断からの復帰を支援する施策の拡充
- 東京の成長産業分野のスキル習得・キャリアアップを後押しする支援施策の強化
- 大学・地域・企業連携によるリスキリング・リカレント教育の後押し

等



「人材」を集め、力を引き出す社会変革

【要望事項】

2. 東京の特性を踏まえた少子化対策

- 東京の課題である「若者世代の結婚希望の実現」への重点的な支援
- 若者世代の出会いの創出
- 若者世代の経済的不安の解消
- 若者世代が望む雇用・人事制度・働き方改革への後押し
- プレコンセプションケアの拡充
- 都内区市町村の優良支援事例の自治体間の共有と実行促進

3. 多様な人材の活躍推進

- 高齢者・女性の活躍推進に向けた企業とのマッチング機能強化拡充
- 外国人材との共生社会の実現に向けた支援
- 高度外国人材に就労先として選ばれるための環境整備
- 性別によるアンコンシャス・バイアスの解消

4. 持続的な賃上げの実現

- 中小企業の自発的かつ持続的な賃上げの実現に向けた環境整備
- パートナーシップ構築宣言の実効性向上による中小企業等の取引適正化（再掲）
- 取引適正化に向けた既存契約の見直し推進
- 大学等と連携した生産性向上・DXを担う人材育成の後押し

魅力的かつレジリエントな「都市」東京の構築

東京の都市としての魅力を高め、国内外から人々を引きつけ、交流を促進するため、**東京に刻まれた歴史文化を再認識**し、歴史文化と事業を組み合わせることで、**まさに新たな付加価値を生み出すことが重要**である。あわせて、文化エンタメを活性化することで、世界に誇れる「国際文化都市東京」を実現したい。

そのためには、区市町村と連携し、地域に根差した歴史的資産を再評価して**歴史文化区域を形成するまちづくり**や、**ナイトタイムエコノミー**をはじめとする文化・エンターテインメントの活性化のほか、都民の**シビックプライド**（郷土愛）の醸成が重要である。

【要望事項】

1. 国内外から人を引き付ける「国際文化都市東京」の実現

- ▶ 地域の多様性を活かした東京の魅力向上とツーリズム産業活性化の促進
- ▶ 歴史を活かしたまちづくりの支援拡充
- ▶ エンターテインメントおよびナイトタイムエコノミーの活性化
- ▶ シビックプライド（郷土愛）醸成に向けた文化教育拡充 等



出所：清水観音堂 寛永寺HP



出所：ZEROTOKYO HP

魅力的かつレジリエントな「都市」東京の構築

【要望事項】

2. 都市の生産性・持続性を向上させるインフラ整備・老朽化対策の推進

- 自動運転化に向けた道路・モビリティインフラの整備
- 都心と首都圏空港、臨海部等とのアクセス改善（鉄道、道路、舟運）
- 最先端のデジタルテクノロジーを実装した都市空間の実現
- 道路・橋梁・トンネル・港湾等のインフラ老朽化対策推進

3. あらゆる災害・リスクへの対策強化

- 平時・有事を連携させるフェーズフリーなまちづくりの推進
- 中小企業のBCP策定率向上による東京のレジリエンス向上
- あらゆる災害・リスクに対応するオールハザード型BCPの策定推進
- 防災・避難情報におけるデジタル技術活用・ユニバーサルデザイン化の推進

4. ゼロエミッション東京の実現

- 太陽光・水素エネルギーの活用やZEB・ZEH・ZEV普及等による脱炭素化の推進
- デジタルやファイナンスの大胆な活用
- 脱炭素化に向けた世界諸都市との国際連携強化

5. ソフト・ハード両面からのバリアフリー促進

- 様々なバリアを取り除くことで「段差のない社会」を創出

等

ゲートウェイ東京の成長を全国各地に展開

東京の成長は日本経済に貢献するものであり、決して狭く東京に閉じた成長としないことが肝要である。**世界の成長を取り込んで東京の産業を発展させる**と同時に、東京の成長による経済的・社会的なインパクトを**デジタル技術を活用しながら全国各地へ波及させる**必要がある。

【要望事項】

1. 東京を世界とのゲートウェイに

- ▶ 東京の情報集積を活用した日本各地のモノ・サービス・魅力の世界発信力の強化
- ▶ 東京の産業活性化に資する世界の人・モノ・カネ・情報の取り込みと活用の促進
- ▶ インバウンドを起点にした海外需要の創出とアウトバウンドへの波及・循環

2. 東京の成長の全国各地への波及促進

- ▶ デジタル技術を活用した東京の需要・供給の地方への波及促進
- ▶ 東京に集積する多様な人材や企業が、地方の産品に対して常識に捉われない未来志向の発想を提供し、各地方の産品を生産者と共に磨き上げる機会の創出 等



挑みつづける、変わらぬ意志で。

